

20047

PCI 術前後オリエンテーションについての検討

<sup>1</sup>鎌ヶ谷総合病院

上白土 恵美子<sup>1</sup>、長谷川 奈央子<sup>1</sup>、長内 千晴<sup>1</sup>、羽野 千登里<sup>1</sup>、和栗 知咲<sup>1</sup>、首里 有紗<sup>1</sup>、西本 静香<sup>1</sup>、高久 健<sup>1</sup>、中里 紀子<sup>1</sup>

PCI 術前後オリエンテーションについての検討

鎌ヶ谷総合病院 看護部

上白土恵美子、和栗知咲、首里有紗、西本静香、長内千晴、高久健、羽野千登里、長谷川奈央子、中里紀子

今回我々は PCI 術前後でのオリエンテーションのあり方について検討を行った。以前は、パンフレット・クリニカルパスを用いての説明を行っていたが、経験年数・知識により説明内容に差が生じ、オリエンテーションに要する時間にも個人差がみられた。

そこで、統一したオリエンテーションと業務時間の短縮、またスタッフ教育の観点から PCI の説明ビデオを作成し集団オリエンテーションを導入した。PCI の説明ビデオは、カテ室を経験していない経験2年目の看護師が作成した。

オリエンテーションの方法は PCI 患者・家族に作成した PCI の説明ビデオを視聴させ、集団で実施。更に質向上を目標として PCI 後に理学療法士による心臓リハビリテーションの介入を行った。

上記試みへの評価としてスタッフ・患者へのアンケートを実施。スタッフからは「業務時間の短縮」「口頭説明の短縮」「ビデオ作成の過程で PCI 入退院の流れが把握できた」など満足度の向上を得る結果であった。また、カテ室経験のないスタッフが作成したものを経験者が補足修正することで、経験者である我々の気づかない患者目線の説明ビデオとなり、新人スタッフ及び患者・家族からも口頭説明よりイメージ化しやすく理解できたと評価を受けた。

集団オリエンテーションの導入は、患者満足度にややばらつきを認めるものの、業務改善・スタッフ教育ともに満足いく結果となった。